国際関係学部 国際関係学科 専門教育分野 TLO: Target and Learning Outcomes

授業科目区分		授業科目名	科目コード ナンバー		科目種別		1. 科目の目的 2. 科目の到達目標			3. ディプロマポリシー			
				ナンバ・リング・	講義 演実習 PBL など	単位	授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙 いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の 達成を目指し、何を到達目標とするか。	野からの幅 広い知識と教	国際関係分野の専門知識とその応用に必要なコミュニケーション力を身につけている	多様な価値 観や文化を 理解し、自立 かつ協働して	DP4 国際社会問題にの場合では、	DP5 市会に対する。 市会にできない。 市会にできない。 市会にできない。 市会にできない。 市会にできない。 市会にできない。 市会にできない。 市会には、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	必修	国際関係学入門	M-IRE101	100	講義	2	国際関係学の全体像を提示し、2年次以降の専門 科目履修に際しての学修計画の指針を提供する。	諸国際問題について、基礎的な理解ができ、全体像 を把握できるようになる。	0		0		0
	_	基礎演習	M-SEM201	200	演習	2	国際問題に対する多様なアプローチを知ることで、 国際関係という学びの分野の全体像を把握させる。	国際問題について基礎的な理解をする。次年度以 降の専門学修を計画立案する指針を作る。	0	0	0		
	卒業研究 演習・	専門演習	M-SEM301	300	演習	2	学部の専門分野から選択し、その研究に必要な基礎知識と実践方法を少人数クラスで徹底して学ぶ。	専門研究の必修スキルである読解・調査・発表・討 論等の能力を身につけ、さらなる学修の準備をす る。			0	0	0
		卒業研究	M-SEM401	400	PBL	4	基礎演習での学修を踏まえ、さらに各専門分野についての知見と実践を深める。	高度な専門性を有する分野について、研究発表や 論文執筆などの実践的な能力を身につける。	0		0	0	
		戦争と平和	M-POL209	200	講義	4	国家の形成過程と科学技術の発展の中で、戦争という現象がどのような変化を遂げてきたのかを歴史 的に理解した上で、戦争の頻度や深刻度に影響を 与えてきた要因と、戦争を防止し抑制するための方 策を検討する。	古代から現代にいたる戦争の歴史と特徴を様々な 角度から体系的に理解し、平和を実現する為の方 法と課題を考える力を養う。	0			0	0
		国際政治学	M-POL201	200	講義	4	「国際社会の紛争と協調」について、基本的な捉え 方、歴史的な背景、今日の諸課題をとりあげて、国 際政治の知見を深める。	(1) 国際政治の多様な考え方を理解し、それらを組 み合わせた分析をできるようになる。(2) 地域の諸 問題を国際的な視野の中で捉え、両者の相互作用 を説明できるようになる。(3) さまざまな社会事象を 多角的に考察し、パランスのとれた提言をできるよう になる。		0	0	0	
		国際経済学	M-ECN210	200	講義	4	現代の複雑な国際経済の構造について理解し、国際経済に関する重要記事を読みこなすことができるようになるための学修を行う。	国際貿易論、国際金融論の基本的な内容について 理解し、さまざまな国際経済問題について貿易、国 際金融の両面から、理論的ツールを用いて考察す ることができる		0		0	0
		国際法	M-LAW201	200	講義	4	(1)国際法の全体像をつかみ、(2)国際社会で起こっていることについて法的な側面から考え、(3)各自の学習テーマ(授業初回時に各自で設定する)について主体的に学ぶ。	国際法を学ぶことによって、(1)~(3)の目的に挙げた 課題について各自でまとめ、多面的に社会をとらえ る視点を身につける。	0		0		0
		現代外交論	M-POL207	200	講義	4	現代社会の国際化や多極化といった状況を外交と いう側面から理解するために、国家の対外政策や 国家間の外交交渉などについて、理論と実際の両 側面から分析する。	現代外をの理解を通じて、(1) 外交の基本的な考え 方を理解し、現実の外交を批判的に分析をできるようになる。(2) 地域の諸問題を国際的な視野の中で 捉え、両者の相互作用を説明できるようになる。(3) さまざまな社会事象を多角の1-考察し、パランスの とれた提言をできるようになる。		©	0	0	
	1	政治思想	M-POL211	200	講義	4	政治学における基礎概念の思想的背景を提示する ことで、3年次以降の専門科目の履修に際して、諸 論点をより根源的に理解するための思考力を提供 する。	現代世界における諸々の政治問題に関して、先入 見を排した独自の思考ができるようになり、自身の 見解を精確に言語化することができるようになる。	0		0		0
	戦争と平和	国際政治史	M-POL212	200	講義	4	17 世紀に誕生した新しい国際体系がさまざまな歴史的事象を通じて全世界に拡大されていく過程について学ぶともに、第二次世界大戦後に国際社会の構造変化が生じたことに無点をあててて、戦後に米ソ間で冷戦といわれる状況が生まれ、世界は東西障営と呼ばれる三極体制に移行し国際社会にさまざまな影響を及ぼしていく過程を理解する。	それぞれの時代の歴史的な出来事についてその背景や影響などについて学び、現代国際社会との関連性について理解する・国際社会の構造変化を歴史的流れの中で捉える・現代社会の思想的背景となっている宗教やナショナリズム、自由主義、民主義もして資本主義や社会主義などのイオロギーや思想について理解することが出来る。	0		0		0
		民主化の比較政治	M-POL213	200	講義	4	諸外国の政治体制や政治変動を分析するための基本的概念と理論的枠組みを学習し、民主化という体制変動の法則性や分析方法、及び原因を明らかにする。	比較や類型化という分析の手法を習得し、民主化の ような政治変動を理解する能力を養う。併せて、東 アジア諸国の政治の実態を知り、各国の抱える課 題を理解する。	0			0	0
		比較文化論	M-POL214	200	講義	4	日本の諸宗教における神と仏のイメージとイスラム 教におけるアッラーのイメージとの比較をもとに、 日・イスラム両文 化の共通点や相違点について理 解する。	(1)異なる宗教を比較することによって宗教についての理解を深める。(2)宗教を通じて地域文化の形成や特徴を理解できる。(3)宗教の相違による文化の相違や共通点について理解できる。	0		0		0
		ナショナリズム論	M-POL304	300	講義	4	ナショナリズムについての理論的アプローチに触 れ、ナショナリズムのもつ役割について、歴史的、理 論的、事例別に検討する。	近現代においてナショナリズムが果たした役割を理解できるようになる。あわせて、自助努力を基本とした自身の頑張りで模範的市民になれるよう、健全なナショナリズム理解をもてるようになる。	0	0	0		
		軍縮安全保障論	M-POL301	300	講義	4	日本への原爆投下を起点に核兵器の拡散および軍 縮交渉の歴史的経緯を辿りながら、「核なき世界」に 向けた軍線と不拡敗の方策と課題を探り、併せて広 島、長崎の今日的意味を深く考えながら被爆国日本 の役割を考えることを目的とする。	軍編・不拡散問題がどのように変化してきたのか理 機し大筋を説明できること、NPT、CTBT等の軍職 不拡散の枠組みの現状と問題点を理解し説明でき ること、軍縮・不拡散問題に対する日本の役割につ いて自己の見解をもてるようになることを目標とす る。	0			0	
		国際金融論	M-ECN316	300	講義	4	グローバル化の中の金融現象に関わる理論および 現実を理解し、国際関係学の学修を広義での経済 学的視点からサポートする。	(1)グローバルな金融現象の理解する。(2)為替レートの決定を中心とした国際金融の基礎を学ぶ。(3)国際財務活動の内容と金融派生商品の基礎的理論を理解する。(4)グローバルな金融危機現象を把握するために、金融リスクと金融テクニックの内容を理解する。(5)国際金融現象の背景としての国際政治を済システムを理解する。(6)マクロ経済学と関連した金融理論・金融政策を理解する。	0	0		©	
		比較憲法論	M-LAW309	300	講義	4	日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツの憲法を 比較しながら、それぞれの類似点・相違点につい て、その理由とともに理解を深め、憲法を「自分ご と」として考える。	近代統治制度の特徴である「権力の制限」や「民主 主義」の意義について理解できるようになる。類似 の制度や現象を比較分析する比較研究の作法を習 得できる。			0	0	0
		国際ボランティア論	M-IRE205	200	講義	4	発展途上国で現在起きている貧困・環境汚染・格差 拡大といった社会問題を理解し、公平で持続可能と 社会を作るために、国際機関製地収解、コニティ 等各アクターと連携しながら、市民社会として果たせ る役割について考える。	ターとの役割分担や関係性を理解する。(3)支援対			0	0	©

					科目種別		1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディブロマポリシー				
	業科目 区分	授業科目名	科目コードナンバー	ナンバ・リング	講演実 PBL ど	単位	授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙 いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の 遠成を目指し、何を到達目標とするか。	多角的な視野からの幅と数けている	B際関係分野の専門知識とその応用に必要なコミュニケーション力を身につけている	B際社会のの 多様な他の値 観報やないし、動してい がついの問題に取り 諸都むことがで きる	理解と解決を 要データを 等で、 ・分解でいました。 ・分解でいました。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解でいまれた。 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では、 ・分解では ・分解では ・分解では ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
		国際援助技術論	M-IRE201	200	講義	4	国際社会で実施されている、様々な援助の形態や プレイヤーについて、学ぶ。あわせて、世界と援助 が直面する課題についても、学ぶことを目的として いる。	外交、ビジネス、研究などの分野で、援助の役割を 理解する能力や、援助を通じて、国際情勢を理解す る能力を身に付けることを、到達目標としている。	0		0		0
		国際理解論	M-IRE206	200	講義	4	国際社会における問題を理解し、異なる価値観をもつ人々が平和な社会を構築するための国際理解のあり方について、SDGsの「多様性の豊かさ」を基礎に、社会の問題を自分ゴトとして考える能力と態度を育成する。	市民の一人として、(1)世界の多様な社会や文化の遠いについて知り、(2)異文化の他者と共生していくための基本的な視座を運解し、(3)解後を乗り越え、平和な多文化共生社会を構築するための、思考力、実践力を養う。			0	©	0
		国際組織論	M-IRE212	200	講義	4	伝統的な国際組織がいかに機能し、あるいは機能 出来なかったか、新たに世界はどう対応してきたの 、日本が具体的にいかに関わっていったかなどを 検証する。	(1) 日本が重要な場で、いかに活躍出来たか、出来なかったか、などの眼を養う。(2) 国際組織がいかに機能できたか、出来なかったかの限界を理解する。(3) 将来の外交の場で、日本は如何に活躍できるか考え、(4) マスコミ、政府の言うことが、信じられるかどうかについて考える力を身につけることができる。	0			0	©
		国際環境論	M-IRE215	200	講義	4	自然科学から社会・人文科学までの広い視点から、 そして数々の事例によって、現代社会の環境問題と それに対する対策の現状と課題を理解し、問題解決 のための方策を考える。	環境保全について理解を深めるだけでなく、主体的 に捉え、それぞれの立場で行動に結びつけていくこ とを目標とする。	0		0		0
		国際NGO論	M-IRE213	200	講義	4	国際社会の諸問題の解決のために、NGOが各セクターと協働する中でどのような役割を果たすのかを理解し、実際の活動に必要な知識とスキルを修得する場を提供すること。	前半(理論編)はNGOの組織特性、マネジメント、問題解決プロセスについて体系的に学ぶこと。後半(実践編)は実際の活動に役立つ知識・知恵・スキルを身につけること。			0	0	0
国際関	②国際協力	ジェンダー論	M-SOC207	200	講義	4	ジェンダー概念についての理解を基本として、主として1975年以降の国連や日本政府の男女平等政策、男女共同参画社会の形成を中心に概観し、ジェンダーをめぐる諸課題、特に現代日本の少子化対策に関連して「性と生殖に関する健康と権利」についまり、会らにフェミズム(女性解別・や、セクシュアル・マイノリティの主張、運動、性の多様性について理解を深める。	ジェンダーという概念や論点を理解し、具体例をもって説明できる・日本のジェンダー平等とその政策について国際的視点をもって説明できる・性の多様性と日本の状況について説明できる・ジェンダー視点から人権問題、「性と生殖に関する健康を権利」について説明できる・固定的な性別役割意識にとらわれず、自分自身の将来設計を描くことができる。			©	0	0
関係学科専門公		国際開発論	M-IRE202	200	講義	4	先進国および発展途上国ともに、格差の拡大が大きな問題となっており、世界各国の発展の可能性につき、データを確認しつつ考察し、世界の投資、貿易、外交政策の動向を確認する。	世界各国の文化・社会の基盤の差異を知り、各国 の制度とその差異を理解し、国際的な制度の組み 直しの必要性を考え、発展途上の諸国が、今後ど のような道をたどるか検討できるようにする。			0	0	0
分野		国際統合論	M-IRE309	300	講義	4	統合理論と統合の現実を対比しながら望ましい未来 を展望するとともに、国際関係学部の中の国際協力 分野の1科目として現代国際政治経済を理解する上 での理論的・応用的視点を養う。	(1)ヨーロッパで、戦後、統合の動きが活発化した歴史的背景を理解する。(2)同時多発的に形成されつのある地域共同体を中心として統合の現状を把握する。(3)アジアにおける統合の必要性と可能性を考察。(4)各地域統合の総合によって世界全体の政治・総決構造を把握する。(5)アレバルによる各種統合現象を考察し、理解する。	0		0		0
		国際ジャーナリズム論	M-IRE325	300	講義	4	インターネット時代における「メディア」の果たすべき 役割とは何か、公正なる国際報道はいかに作られ るのか。国際社会における「ジャーナリズム」のあり かたを現在・過去・未来の視点から考察し、的確に 分析する。	現在進行形の「米中新冷戦」をめぐる報道を中心に すえ、思考力や分析力、問題発見力、方針決定力 の向上をめざす。グループディスカッションや小論文 の作成を経て、社会人として実戦で通じる情報発信 力を得る。	0	0		0	
		国際人権論	M-IRE307	300	講義	4	人権概念の変遷と課題についての理解と、国際的な人権保障の枠組みについての理解ならびに日本国の人権保障に関する国際的な責任について理解する。	人権概念とその国際的な保障枠組について理解できるようになる。また日本に課せられた国際社会における責務や国際NGOによる人権活動の意義も理解できるようになる。			0	0	0
		国際資源論	M-IRE306	300	講義	4	日本および世界のエネルギーと環境、それに食料・ 農業に関連した資源全般の問題につき、広く、そしてできるだけ深く勉強し、日本の政策の注目点、世 界の主要国の動向を考察する。	エネルギー、環境、食料・農業問題につき、制約条件を確認し、今後のライフスタイルを考え、各国間の利害が異なり、国ごとに意見が異ならざるを得ない問題と理解し、自分の意見を出す。			0	0	0
		国際経営論	M-MNG310	300	講義	4	国際分業及び各国の価値規範を踏まえ、成熟化した国際社会で多国籍企業を母体に展開される国際 経営を、日本企業を中心に理論的、実践的に理解 し、説明できる能力を養う。	第2ステージに入り、主たる舞台を新興国に移し展開される国際経営、特に日本企業における国際経営の実践的側面について、理論に基づき理解、説明できる。			0	0	0
		多国籍企業論	M-MNG315	300	講義	4	21世紀の国際経済社会の問題、課題を理解し、経 済潮流を踏まえ、多文化世界での多国籍企業活 動、特に日系多国籍企業の備える特性とその活動 を通して、その在り方を考究する。	内向化した時代、人口動態の雁行形態に即し国際 経済の牽引役を担う新興国を主たる舞台に活動す る、経済潮流の主体であり、多大な影響力を持つに 至った多国籍企業について理解できるようになる。	0		0		0
		日本政治史	M-POL202	200	講義	4	明治維新から150年を越えたことを金頭に、幕末からから冷戦後の今日に至る日本政治の流れた国際 環境の変容と関連付けながら概頼する。前半は幕 末期から敗戦まで、後半は占領側から現在までの 日本の内政および外交を歴史的、政治学的に論し る。	明治維新以降、約150年の日本政治の流れを理解 することによって現在の日本政治をみる眼を養うを目標とする。特に国際環境の変化と日本の政治 権力の相互作用の観点から日本政治が理解できる ようになる。	0				
		日本外交論	M-POL215	200	講義	4	戦前から戦後、そして今日に至るまでの日本外交 を、国際環境、国内要因、政策決定者個々人のレベ ルから概観する。	日本外交の史的展開を把握し、戦後主要各国と日本との2国間関係を理解し、今日の日本外交の主要 課題(領土問題や歴史問題)について考察を深め る。		©		0	0
		日本社会文化論	M-POL210	200	講義	4	世界的な観点からみた日本という視点から、日本の 特徴的といえる事象に重点を置いて、日本の社会 や文化について理解を深める。	日本とアジア諸国との違いが生まれたかを自覚できるようにするとともに、1)他のアンア諸国と違う日本の独自性を見出すことができる。2)日本な社会の特徴を抵明することができる。3)日本の特徴を生かした未来への展望を築くことなどができるようになる。	0		0		0
		アメリカ社会文化論	M-ARS204	200	講義	4	アメリカの「社会と文化」を、主に大衆文化を中心に 考えて、アメリカのエスタブリッシュントの中心価値 となっている「主流文化」と、若者や女性、マイリ ティーが担い手の「対抗文化」という二項の「綱引き」 の図式を念頭に考察する。	アメリカ文化は「主流文化」と「対抗文化」がせめぎ合い、綱引きを繰り広げているという認識のもと、これら二項を理解し、アメリカの歴史・社会・女化についての基本を踏まえて、アメリカ文化を「消費する」ことについても理解する。	0		0		©
		ヨーロッパ社会文化論	M-ARS211	200	講義	4	現代ヨーロッパの諸事情について、その歴史的背景 に遡って考察し、知識・認識を深める。	現代ヨーロッパの諸事情について、その歴史的背景 に遡って考察し、知識・認識を深める。	0		0		0
		ロシア社会文化論	M-ARS212	200	講義	4	さらなる相互理解が必要なロシアの歴史と文化を多面的に学び、その根底に流れるロシア的な考え方や世界観を理解すこと。	ロシアの社会と文化の独自性と多様性を学び、今の ロシアの姿の背後にある豊かな歴史の奥行きを知 ること。また、ロシアを通して自分たちを取り巻く諸 問題を再考する力を養うこと。	0		0		0

				科目種別		1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー				
	授業科目名							DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
受業科目区分		科目コードナンバー	ナンバ・リング	講演実 PBL など	単位	授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙 いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の 選成を目指し、何を到達目標とするか。	多角的な視 野から知識と教 を身につけ でいる		国家様な文化会価値を立てりで、場合により、関連を対しる語とができます。	国おけるとなって、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	市会心ロー点関い験社の見活にといれている。原にを呼びらの見活にという。原知を会にをいているの見活にといる。原知をなるる。
	東アジア社会文化論	M-ARS210	200	講義	4	漢字と著の文化を共有する東アジアを、中国語文化 圏を中心に「旅」するように社会の共通点や相違点 を考察する。先入観や誤解を排し、真の国際人とし て社会に飛び立つ上で欠かせない比較文化論の土 台を築く。	幅広い東アジア文化に「なるほど!」と領〈発見をしたり、グループディスカッションや小論文の執筆をしたりして、自らが思考力や分析力、問題発見力、方針決定力を向上させ、社会人としての能力を得る。	0		0		0
③ 地 域 研	中東社会文化論	M-ARS215	200	講義	4	中東の社会や文化のもととなっているイスラム教を中心に、中東における風習、男女関係、イスラム法 (シャリーア) などについて理解を深める。	イスラム教を背景として、中東世界の事情を理解するとともに、それぞれの時代の特色について語ることができるようになる。	0		0		0
究	アメリカの政治と外交	M-ARS216	200	講義	4	アメリカの国内政治と外交政策のリンケージ現象に ついて体系的知識を提供する。	アメリカの政治と外交の諸特徴を理解するとともに、 アメリカと世界の関係についても把握できるようにな る。	0	0			0
	東ヨーロッパの政治と外交	M-ARS217	200	講義	4	近現代におけるヨーロッパの発展の足跡を広く地域 的、内政的展開も織り交ぜながら、国際的視野を 持って広く概観し、多国家を包括したヨーロッパの現 状を深く理解する。	世界史のなかで、ヨーロッパが果たしてきた役割、 および、今後の考えられる展開について理解し、イ ギリスのEU離脱後の動向について考えることが出 来る。	0	0	0		
	東南アジアの政治と外交	M-ARS218	200	講義	4	「世界のなかの東南アジア」「日本にとっての東南ア ジア」という視点から、東南アジアの近現代史を振り 返り、植民地からの独立、ベトナム戦争をかぐる国 際関係、ASEAN とインドンナ、冷戦終結と東南アジ ア、米中対立の新たな舞台、などの諸展開を理解す る。	東南アジアの政治と外交についての全体像を把握 し、さらに 1) 東南アジア地域の特徴や現状につい て、具体例を挙げながら説明できるようになる。2) 東南アジア諸国の事例をつうして、政治や国際関係 をより深く理解できるようになる。		©	0	0	
	中東の政治と外交	M-ARS219	200	講義	4	現代の中東地域諸国の国内情勢、中東地域政治、 および中東地域に関与する域外大国の政策につい て包括的に考察する。	複雑な現代中東地域政治の基本的構造を理解することでニュース等で報道される中東情勢について関心が持てるような知識を習得する。		0	0		0
	日本の安全保障	M-POL307	300	講義	4	敗戦から現在に至る戦後日本の安全保障政策の歴 史的展開を辿りながら今日の日本の安全保障問題 を考えることを目的とする。	日本の安全保障について歴史、理論、政策から学 ぶことによって、日本の安全保障のあり方について 自己の見解をもてるようになることを目標とする。	0			0	
	日本経済論	M-ECN326	300	講義	4	景気の見方や経済指導の見方について解説すると ともに、日本経済が抱えている問題を解説すること により、日本経済の現状を理解・分析するための基 礎的な知識を習得し、それに基づいて日本経済が 直面する問題点を理解し、そのための処方箋を考え ることを目的とする。	日本経済の現状を理解するために必要な主要経済 指標、および日本経済の分析手法に関する知識を 理解すること、それをもとに日本経済が直面している 引聞題点について学び、それらを自らの言葉で説明 できるようになること、日本経済を活性化するための 政策を立案する能力を身に着けることを目標とす る。			©	0	0
	中国の政治と外交	M-ARS309	300	講義	4	中国をめぐる国際関係の理論と事例研究を学習する。	中国の現代史と国際関係を学び中国の行動を理解することができる。		0	0		0
	朝鮮半島の政治と外交	M-ARS318	300	講義	4	朝鮮半島の政治と外交を、とくに朝鮮半島の国際関係に焦点を当てて考察する。	21世紀に入ってからの朝鮮波頭の政治と外交について、それらを理解するうえで不可欠な基本的視座を獲得できる。	0		0		0
	東アジア安全保障論	M-ARS312	300	講義	4	東アジアの安全保障を日本にとっての含意を常に 意識しつつ、巨大化した中国と緊張関係が持続する 朝鮮半島にとくに焦点を当てて考察する。	21世紀に入ってからの東アジアの安全保障環境を 理解するうえで不可欠な基本的視座を獲得できると ともに、広い視野のなかで問題を捉えると同時に、 それについて深く分析検討する能力を養成する。	©		0		0
4	ツーリズム(国際メディア学科②参照)											
	国際教育プログラム I	M-ISP101	100	実習	2	インターンシップ、ボランティア、海外フィールドワーク、メディア活動などを課外授業として実践する。	様々な現場において学生が主体的に関与行動できるような/ウハウを身につけ、実践によって成果を得る。		0	0		0
⑤ 学 科	国際教育プログラムⅡ	M-ISP102	100	実習	2	インターンシップ、ボランティア、海外フィールドワーク、メディア活動などを課外授業として実践する。	様々な現場において学生が主体的に関与行動できるようなノウハウを身につけ、実践によって成果を得る。		0	0		0
間共通専門	国際教育プログラムⅢ	M-ISP103	100	実習	2	インターンシップ、ボランティア、海外フィールドワーク、メディア活動などを課外授業として実践する。	様々な現場において学生が主体的に関与行動でき るようなノウハウを身につけ、実践によって成果を得 る。		0	0		0
分野	国際関係学特殊講義A	M-IRE216	200	講義	2	流動的な国際関係の動きに応じて、現代的なテーマを設定して講義を行う。	現代的な国際関係の諸問題を客観的に分析し、国際関係のいまを精確に理解すること。			0	0	0
	国際関係学特殊講義B	M-IRE217	200	講義	4	流動的な国際関係の動きに応じて、現代的なテーマを設定して講義を行う。	現代的な国際関係の諸問題を客観的に分析し、国際関係のいまを精確に理解すること。			0	0	0
E-Trac	k E-Track科目											